

日本産学フォーラム主催 国際シンポジウム
－産学協同における倫理問題への取組み：新しい方法論の必要性－
Responsible Practice in Collaborative R&D :
Are new Codes of Conduct and Procedures needed?

1. 日 時 平成19年2月21日(水) 10時00分～17時00分

2. 会 場 リーガロイヤルホテル東京 3階 ロイヤルホール
東京都新宿区戸塚町1-104-19 TEL 03-5285-112

3. 趣 旨

国際化、情報化の進展とともに科学技術発展の可能性が大いに期待されている今日、これを好機として活かすためには国内外の官民協働のネットワークが必要であることは疑う余地がありません。他方で、個々の研究関係者の観点から、適切な共同研究等のマネジメントについては共通認識、制度的基盤が欠けているといった混沌とした状況にあります。これによって、多くの倫理的問題が発生し、研究活動に対する社会からの信任の失墜を招いているのみならず、潜在的に有意義な多くの共同研究が入り口で躊躇しているといった深刻な事態になっております。こうした状況に対し、日本産学フォーラムは本テーマに造詣の深い国内外の賢人をお招きし、議論を深め、早急にも然るべく建設的な行動を起すための端緒となるべきシンポジウムを企画致しました。

4. 主 催：日本産学フォーラム (Business-University Forum of Japan)

<http://www.buf-jp.org/top.htm>

5. 参加者数：約100名

産学協同における倫理問題への取組み - 新しい方法論の必要性 -

日時：2月21日（水） 10時00分～17時00分
場所：リーガロイヤルホテル東京 3階 ロイヤルホール

10:00～10:10 開催ご挨拶

長田 豊臣／立命館大学 理事長

10:10～11:40 基調講演

「産学協同における倫理問題 - 明治大学の取組み -」

納谷 廣美／明治大学 学長

「科学技術の健全な発展に向けて - 研究不正問題への取組み -」

相澤 益男／東京工業大学 学長

「日立グループのCSR活動 - 技術倫理向上の取組みについて -」

八丁地 隆／株式会社日立製作所 副社長

11:40～12:30 パネルディスカッション I

「産学における倫理問題への対処：国際的視点」

座 長 廉 載鶴／高麗大学校 政経学部教授

パネリスト Joan ADAMS／Battelle-Japan, Senior Vice-President

浜田 恵美子／太陽誘電株式会社 主席研究員

孟 健軍／清華大学 シニアフェロー

Pornchai MONGKHONVANIT／サイアム大学 学長

12:30～13:30 昼 食

13:30～15:30 基調講演

「Ethical Issues and Challenges: A Framework」

Christine BOESZ／全米科学財団 監査官

白井 克彦／早稲田大学 総長

「Ethical Performance: A Management Imperative」

Edward SOULE／ジョージタウン大学 助教授

「Ethical Approaches to Engineering and Business」

岡村 正／株式会社東芝 取締役会長

15:30～16:30 パネルディスカッション II

「ガバナンス、倫理とその原則：現実的なフレームワークとは」

座 長 猪口 孝／中央大学 教授

パネリスト Peggy FISCHER／全米科学財団 監査総監補

猪口 邦子／自由民主党衆議院議員 日本学術会議会員

平林 博／外務省 特命全権大使（査察担当）

二村 隆章／新日本監査法人 ERNST & YOUNG

国際部米国 SOX 法対応担当

島賀 哲夫／株式会社前川製作所 会長

16:30～17:00 まとめ「今後に向けて」

武田修三郎／産学フォーラム事務局長